

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	2月27日(木) ～28日(金)	第5回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会	2号3ページ参照
	4月1日(火)	第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム	同	2号4 〃
	4月19日(土)	東名高速道路見学会	東京一 名古屋間	2号2 〃
	7月15日(火) ～16日(水)	第10回地震工学研究発表会	土木学会	2号4 〃
北海道支部	2月28日(金)	研究発表会	札幌市	2号5 〃
	3月12日(水)	講習会	同	2号5 〃
東北支部	2月20日(木)	講演会	仙台市	2号5 〃
	2月21日(金)	研究発表会	同	2号5 〃
関東支部	3月26日(水)	見学会	東京	2号6 〃
中部支部	2月28日(金)	第2回講習会	名古屋市	2号6 〃
	3月14日(金)	第4回見学会	同	2号6 〃
関西支部	2月25日(火) ～26日(水)	工事安全対策に関する講習会	大阪市	2号7 〃
	2月25日(火)	若い会員懇親パーティ(第2回)	同	2号7 〃
	3月18日(火) ～19日(水)	工程管理に関する講習会	同	2号7 〃
	3月18日(火)	若い会員懇親パーティ(第3回)	同	2号8 〃
	5月11日(日)	関西支部年次学術講演会	神戸市	2号8 〃
西部支部	2月23日(日)	支部総会	福岡市	2号9 〃
	2月23日(日)	研究発表会	同	2号9 〃
そ の 他	2月26日(日) ～27日(月)	第7回原子力総合シンポジウム	東京	2号9 〃
	3月27日(木)	第14回材料強度と破壊国内総合シンポジウム	同	2号9 〃
お 知 ら せ	■土木学会論文集名称変更			2号2 〃
	■「土木学会誌」広告料金改訂について			2号2 〃
	■第10回地震工学研究発表会講演募集			2号4 〃
	■国際会議のお知らせ			1号19 〃

評 議 員 選 挙 告 示

昭和44年度評議員選挙を各支部ごとに4月末日までに執行いたします。

各支部の評議員定数は、44年1月31日現在の所属会員数(規則第18条により)に比例、按分した結果つぎのとおり。

支 部	北 海 道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
評議員定数	6	6	40	12	23	6	7	100

理 事 なら び に 監 事 選 挙 告 示

昭和44年度理事ならびに監事の選挙を44年4月末日までに執行いたします。

土木学会論文集の名称変更

社団法人 土 木 学 会

表記の件につき、昭和 43 年 12 月 19 日の理事会におきまして、161 号より下記のように実施することに決まりましたのでお知らせします。

1. 名称を「土木学会論文報告集」と改めます。

学問技術に役立つ研究・調査・工事報告に関する論文および同資料などをより広くかつ積極的に登載することとし、名称も上記のものに改めることにします。

2. 英訳名称を「**Proceedings of the Japan Society of Civil Engineers**」と改めます。

前項の名称変更に伴って、その英文名称を従来の「Transactions of the Japan Society of Civil Engineers」から上記のように改めます。

付 記：論文集編集委員会では、会員の御期待にこたえうるよう論文報告集のあり方についての検討を続けています。詳細は決定次第お知らせしますが、御意見がありましたら同委員会までお寄せ下さい。

「土木学会誌」広告料金改訂について

本学会は大正 3 年 11 月創立以来、本年で 55 周年を迎えることとなります。この間、学会の看板ともいべき「土木学会誌」は、土木技術の進展とともに成長を続け、内容の充実、発行部数の飛躍的増加となって、学会の主軸となって発展して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。しかしながら今後よりいっそう誌面の刷新をはかり内容を充実してゆくことは、最近の諸物価の高騰、印刷経費の著しい値上がり、取材費の増大を考えた場合、非常に困難となって参りました。つきましては利用者各位にはまことに恐縮ですが、44 年 4 月号より 4 年ぶりに広告料金を下記のとおり改訂いたしますので、よろしくご賢察、ご協力のほどをお願い申し上げます。

1 ページあたり 広告料金

	表紙 2	表紙 3	表紙 4	後 付	後 付	色 紙	綴込(持込み)
改 訂 後	70 000	60 000	80 000	1 ページ 45 000	半ページ 23 000	50 000	1 枚 60 000

* 学会監修出版物は別に規定があり 50 000 円となります。

東名高速道路見学会

待望の東名高速道路は、いよいよ来る 5 月に全線開通することになりましたので、開通を前に全線を見学する計画をいたしました。とくに今回は東京・名古屋から同時にバスでスタートして、中間で東西両班が交歓することにしてあります。会員諸兄のご参加をおすすめいたします。

見学コース：東名高速道路（東京—名古屋）全線

東京班（下り）と名古屋班・大阪班（上り）富士川付近で昼食交歓

大阪班は前日出発 名神高速道路も併せて見学し、名古屋で 1 泊

定 員：東 京班 90 名（バス 2 台）

名古屋班} 90 名（バス 2 台）

大 阪班}

集 合：東 京班は 4 月 19 日（土）8 時 45 分 土木学会

名古屋班は 4 月 19 日（土）8 時 45 分 名古屋駅西広場（新幹線側）

大 阪班は 4 月 18 日（金）14 時 00 分 新大阪駅前

解 散：東 京班は 4 月 19 日（土）17 時 00 分 名古屋駅

名古屋班} は 4 月 19 日（土）17 時 00 分 渋谷駅

大 阪班}

- 参加費：東京班は 1500 円（東名間バス，昼食代）
 名古屋班は 1500 円（東名間バス，昼食代）
 大阪班は 5000 円（名神間バス，名古屋1泊，東名間バス，昼食代）
- 申込：4月10日（木）までに参加費を添えて下記にお申込み下さい。満員になり次第締切ります。
- 東京班は 土木学会総務課 160 東京都新宿区四谷1丁目 電（03）351-4133
 名古屋班は 土木学会中部支部 460 名古屋市中区三の丸 2-5-1 建設省中部地建企画室内 電（052）962-6311
 大阪班は 土木学会関西支部 537 大阪市東成区中道元町 5-149 電（06）981-2510

第5回岩盤力学に関するシンポジウム

◀ 2月27日（木）～28日（金） ▶

標記シンポジウムを下記により開催いたしますので、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年2月27日（木），28日（金）
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目）
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. プログラム：

第1日：2月27日（木）

- | | | |
|-------------|--|---|
| 9.30～9.40 | 開会あいさつ | 土木学会岩盤力学委員会委員長 岡本 舜三 |
| 9.40～10.05 | (1) S波の測定による岩盤の強度の考察について | 鹿島建設 佐藤忠五郎・〇雑喉 謙・西藤立雄・遠西光男 |
| 10.05～10.30 | (2) 高速荷重下における岩石の力学的挙動 | 東北大学工学部 小林 良二 |
| 10.30～10.50 | 討 議 (1)～(2) | |
| 10.50～11.00 | 休 憩 | |
| 11.00～11.25 | (3) 長大吊橋基礎岩盤調査の一例—関門吊橋の場合— | 建設省土木研究所 〇吉田 巖・埼玉大学理工学部 吉中竜之進・日本道路公団関門架橋工事事務所 大橋 昭光 |
| 11.25～11.50 | (4) 変形試験時における岩盤中のひずみ分布 | 建設省四国地方建設局 岸本貞男・建設省土木研究所 安江朝光・〇小林茂敏 |
| 11.50～12.10 | 討 議 (3)～(4) | |
| 12.10～13.00 | 昼 食・休 憩 | |
| 13.00～13.25 | (5) モルタルのような脆性材料の変形特性 | 名古屋大学工学部 川本眺万・〇富田和政・秋本昌胤 |
| 13.25～13.50 | (6) ひびわれ体の応力解析法の一例 | 電力中央研究所 北原 義浩 |
| 13.50～14.20 | 討 議 (5)～(6) | |
| 14.20～14.30 | 休 憩 | |
| 14.30～14.55 | (7) 岩石の吸水による強度低下，吸水膨脹，クリープの増加—珩岩，泥岩および粘板岩の場合 | 電力中央研究所 〇金川 忠・中新井 克子 |
| 14.55～15.20 | (8) 亀裂の強度に及ぼす影響について | 東北大学工学部 佐武 正雄・〇田野 久貴 |
| 15.20～15.45 | (9) 傾斜した中間層をもつ供試体の一軸圧縮強度とその破壊機構について | 東北大学工学部 佐武正雄・伊藤 誠・〇山崎芳徳 |
| 15.45～16.15 | 討 議 (7)～(9) | |

第2日：2月28日（金）

- | | | |
|-------------|---|---|
| 9.30～9.55 | (10) ベンチカット発破による岩盤変動の電気的測定 | 京都大学工学部 吉住永三郎・入江 恒爾・鹿島建設 佐藤忠五郎・鹿島建設技術研究所 〇谷本 治重 |
| 9.55～10.20 | (11) 矢作アーチダムの基礎岩盤掘削における爆破振動測定 | 鹿島建設 佐藤忠五郎・雑喉 謙・〇梅田 貞夫・松井 正州・井保 武寿 |
| 10.20～10.40 | 討 議 (10)～(11) | |
| 10.40～10.50 | 休 憩 | |
| 10.50～11.15 | (12) 奈川渡ダムの断層処理について | 東京電力梓川水力総建設所 藤井 敏夫 |
| 11.15～11.40 | (13) 下釜ダムの高圧グラウチング | 建設省九州地建 副島 健・建設省土木研究所 〇花籠 秀輔 |
| 11.40～12.00 | 討 議 (12)～(13) | |
| 12.00～13.00 | 昼 食・休 憩 | |
| 13.00～13.25 | (14) 破壊音を応用した地すべりの予知 | 鹿島建設技術研究所 〇渋谷長美・田村 計・岡林信行 |
| 13.25～13.50 | (15) 変状トンネルの問題 | 国鉄鉄道技術研究所 高橋彦治・〇塚塚 全・高木 盛男 |
| 13.50～14.10 | 討 議 (14)～(15) | |
| 14.10～14.20 | 休 憩 | |
| 14.20～14.45 | (16) 喜撰山発電所の地下空洞掘削に伴う空洞周辺の地山の変形について | 関西電力喜撰山建設所 吉村 清宏 |
| 14.45～15.10 | (17) 粘塑性地山内でのトンネル覆工への経時的応力の解析法 | 電力中央研究所 〇林 正夫・北原義浩・日比野 敏 |
| 15.10～15.30 | 討 議 (16)～(17) | |
| 15.30～15.40 | 休 憩 | |
| 15.40～16.40 | 〔特別講演〕 International Symposium on Rock Mechanics 報告 | 建設省土木研究所 飯田 隆一 |
| 16.40～17.10 | 映 画 「礎—梓川電源開発の記録—」 | |
| 17.10～17.20 | 閉会あいさつ | 土木学会岩盤力学委員会副委員長 畑野 正 |

◎講演概要：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布いたしますので、ご希望の方はお買求め下さい。（価格未定）

第 10 回地震工学研究発表会講演募集

下記により第 10 回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1969 年 7 月 15 日（火）、16 日（水）
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定：
 - (1) 講演内容：理論、実験、耐震設計の実測、復旧工事、震害等
 - (2) 申込方法：3 月 31 日（月）までに題目、講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける）、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申込み下さい。
4. 講演概要原稿締切：5 月 10 日（土）厳守

講演概要はオフセット印刷致します。原稿の長さは 1 題目刷上り 4 ページ以内（図・表・写真を含み 6480 字）とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。講演の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、1 講演 15 分～20 分（質問時間含まず）の予定です。
5. パネル討論：今回は特定のテーマを設けパネル討論を行ないます。

第 2 回構造用軽量骨材に関するシンポジウム

◀ 4 月 1 日（火）▶

土木学会コンクリート委員会では下記により標記シンポジウムを開催いたします。現在コンクリート用新材料として脚光を浴びている人工軽量骨材の使用法を中心に活発な論議を行なうことは、斯界発展のために有意義なことと存じます。ふるってご参集下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969 年 4 月 1 日（火）9.00～18.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 参加費：無 料
4. 講演概要：当日実費頒布
5. 講演内容：

(I 軽量骨材の性質)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| (1) 人工軽量骨材の吸水特性とコンクリートの性質 | 鳥取大 西林新蔵・大阪セメント 湯本徹男 |
| (2) 人工軽量骨材の破砕試験について | 東大生研 小林一輔・趙 力栄・河原俊厚 |
| (3) 軽量骨材粒の強度および耐久性 | 都立大 村田二郎・神山行男 |

(II 軽量骨材コンクリートの性質)

- | | |
|---|--------------------------------|
| (4) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートの諸性質 | 東大 岡村 甫・山本泰彦・榎本松司 |
| (5) 軽量コンクリートの諸性質 | 国鉄技研 樋口芳朗・割沢善雄・西郷勤次郎・浅沼久志 |
| (6) 軽量骨材コンクリートの二、三の実験 | 東北大 後藤幸正・杉山嘉徳・石母田豊 |
| (7) 人工軽量骨材コンクリートの諸性状に及ぼす乾湿の影響 | 東大生研 小林一輔・伊藤利治 |
| (8) クリープの環境湿度依存性について | 京大 岡田 清・小柳 治・坂田憲次 |
| (9) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートのクリープ | 東大 岡村 甫・鈴木正治 |
| (10) 人工軽量骨材コンクリートの圧縮疲労性状 | 東大生研 小林一輔・伊藤利治・芝田 憲 |
| (11) 人工軽量コンクリートの耐硫酸塩性に関する二、三の考察 | 鳥取大 西林新蔵・大阪セメント 片岡宏治・三井金属 清水 昭 |
| (12) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートの凍結融解に対する抵抗性について | 法政大 小林正凡・東大 高橋正泰 |

(III 施 工)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| (13) 惣領橋床版の軽量コンクリートに関する研究 | 道路公団 四本堯光・中村修吾・日本セメント 西岡忠郎 |
| (14) 軽量レデーミクスコンクリートの運搬について | 都立大 村田二郎・神山行男 |
| (15) 鉄道構造物における人工軽量骨材コンクリートの適用 | 国鉄 尾坂芳夫・鳥居敏郎・小地 晋 |

(IV 軽 量 R C)

- | | |
|---|---------------|
| (15) 鉄筋コンクリート短柱の中心軸圧縮試験（普通および人工軽量骨材コンクリートの場合） | 京大 六車 照・渡辺史夫 |
| (17) 人工軽量骨材を用いた鉄筋コンクリートはりの長期村令における曲げ実験 | 東工大 長滝重義・米山紘一 |
| (18) 軽量鉄筋コンクリート桁のせん断強度について | 東大 松貝 勇 |
| (19) 人工軽量骨材を使用した鉄筋コンクリート部材の曲げせん断強度および振りせん断強度 | 早大 神山 一 |

(V 軽 量 P C)

- | | |
|--|------------------------------------|
| (20) 人工軽量骨材を用いた P C けたの定着部の強度と補強方法 | 中央大 西沢紀昭・日本コンクリート工業 高野昭信 |
| (21) くり返し高荷重をうける軽量 P C 単純はりの変形と耐力 | 京大 六車 照・富永 恵・高矢義忠 |
| (22) 人工軽量骨材を用いたプレストレスト コンクリートけたの疲労強度に関する研究 | 国鉄 尾坂芳夫 |
| (23) 軽量 P C 桁の曲げおよびせん断試験 | 東大 国分正胤・松本嘉司・国鉄 樋口芳朗・割沢善雄・都立大 村田二郎 |

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階)
電 (0122) 25-7038

(1) 研究発表会

◀ 2月28日(金) ▶

1. 期 日: 1969年2月28日(金)
2. 場 所: 札幌市民会館
3. 発表内容: 本誌第54巻1号11ページ参照

(2) 講習会(橋梁の耐震設計問題)

◀ 3月12日(水) 9.20~ ▶

1. 日 時: 1969年3月12日(水) 9.20
2. 会 場: 札幌市民会館2階1号室(150人収容)
3. 講習内容:
 - ① 9.30~10.45 地震の概論(地震とは何か、地震の記録計など)
 - ② 10.45~12.00 地震の物理探査法とその応用(振動の実験、データの整理方法など)
 - ③ 12.45~14.00 構造物の振動理論(ある程度基礎的なもの)
 - ④ 14.00~15.15 計算機による橋の地震応答計算法(アナログ、デジタル計算機の応用例など)
 - ⑤ 15.15~16.30 現場における橋の振動実験(現場での振動実験の例)
4. 受講料: 無料 ただしテキストは実費頒布

北大理学部 田 望
北大理学部 田治米鏡二
北大工学部 芳村 仁
北大工学部 渡辺 昇
開発局土試 井藤 昭夫

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市北三番丁124 東北地方建設局企画室内)
電話 (022) 25-2171

(1) 昭和43年度講演会

◀ 2月20日(木) 10.00~ ▶

1. 日 時: 1969年2月20日(木) 10.00~17.00
2. 講演内容:
 - 10.00~12.00 東北の地域開発
 - 14.00~15.00 情報革命と経営管理
 - 15.00~16.30 映 画: 十勝沖地震・青函トンネル
3. 会 場: 日之出会館(仙台駅前)7階ホール
4. 定 員: 400名
5. 聴 講: 無 料

講演者未定
講演者未定

(2) 研究発表会

◀ 2月21日(金) 9.00~ ▶

1. 日 時: 1969年2月21日(金) 9.00~17.00
2. 会 場: 東北大学工業教員養成所(仙台市桜小路)
 - 第I部門 4階大講義室
 - 第II部門 3階中講義室
3. 発表申込: 1969年1月20日までに最終学歴・勤務先・氏名・発表題名を支部あて申込んで下さい。
1人1題とします。
4. 発表時間: 1題につき約20分(質問時間を含まず。スライド使用はできません。)
5. 原稿提出その他:
 - ① 原稿はオフセット印刷しますので、発表申込者は支部から原稿用紙を送ります。
 - ② 原稿用紙は1ページ1620字詰1題につき2ページまたは4ページとします。
 - ③ 原稿提出 1969年1月31日までに東北支部へ
6. 申 込 先: 仙台市北三番丁 土木学会東北支部(電 25-2171)
7. テキスト: 無 料

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内)
電話 (03) 351-4133

「総武線線増工事と地下鉄5号線試乗」見学会

◀ 3月26日(水) ▶

1. 日 時：1969年3月26日(水) 9.45～16.30
2. 集 合：東京駅八重洲北口 三和銀行八重洲支店前(八重洲北口改札口を出て左側奥) 9.45 集合
3. 見学内容：(10.00～12.30) 国鉄会議室にて説明および作業衣着用 東京駅(地下新駅)、室町ずい道を見学～(12.30～13.00) 两国工事区にて昼食～(13.00～15.30) 小岩駅、西船橋駅を見学～(15.30～16.30) 地下鉄5号線説明および西船橋～東陽町間地下鉄試乗
4. 解 散：地下鉄5号線東陽町駅 16.30 解散
5. 定 員：50名(見学現場間は貸切バス使用。なお作業衣、ヘルメット、手袋、長靴は準備しますので、着替を入れる大判風呂敷等を持参して下さい。)
6. 参加費：300円(昼食を含む)
7. 申込み：勤務先、氏名、連絡先を明記のうえ参加費(郵便切手でも可)を添えて、土木学会関東支部へお申込み下さい。満員になり次第締切りますから、早目にお申込み下さい。
(注)都合により見学コースを変更することがあります。

中部支部行事案内(郵便番号 460 名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 建設省中部地方建設局)
企画室内 電話 052 962-6311 内線 375

(1) 昭和43年度第2回講習会——土木工事の計画と管理——

◀ 2月28日(金) ▶

1. 日 時：1969年2月28日(金)
2. 会 場：愛知県産業貿易館 4階第1会議室 名古屋市中区丸の内3丁目1番 電話 231-6351(市電 名古屋城 下車)
3. プログラム：

① 9.30～9.40	開会の挨拶	
② 9.40～11.40	公共土木工事施工業務の改善	支 部 長
11.40～12.40	昼 食	建設省大臣官房技術調査官 田原 隆
③ 12.40～13.40	土木工事施工管理の諸問題	中部地建技術管理官 西山 徹
④ 13.40～15.10	土木工事積算の自動化について	国鉄臨時工事積算室次長 河辺教雄
⑤ 15.10～16.40	土木工事計画と管理の考え方	鉄道技術研究所主任研究員 加藤昭吉
⑥ 16.40～16.45	閉会の挨拶	大成建設KK企画調査部 幹 事 長
4. 定 員：100名
5. 会 費：300円(テキスト代を含む)
6. 申込み：2月15日までに会費を添えて氏名、勤務先を明記して土木学会中部支部へお申込みください。
なお、期限前でも定員になり次第しめきります。

(2) 昭和43年度第4回見学会

◀ 3月14日(金) ▶

1. 日 時：昭和1969年3月14日(金) 9.00～17.00
2. 見学場所：日本鋼管津造船所建造、修理ドックおよび土地造成に伴う県営工事
3. 【集合場所時間：名古屋市栄テレビ塔北 8.40
4. 行 程：(9.00) テレビ塔北出発～(11.00) 現地到着(説明および昼食)～(12.50～14.00) 現地見学～(14.00～17.00) テレビ塔北着解散
5. 定 員：100名
6. 会 費：200円
7. 申込み：3月5日までに会費を添えて氏名、勤務先を明記して土木学会中部支部へお申込みください。なお、期限前でも定員になり次第しめきります。

関西支部行事案内 (郵便番号 537 大阪市東成区中道元町 1 丁目 149 番地
電話 大阪 (06) 981-2510, 振替口座大阪 82599 番)

(1) 工事安全対策に関する講習会

◀ 2 月 25 日 (火) ~ 26 日 (水) ▶

1. 日 時: 1969 年 2 月 25 日 (火), 26 日 (水) の両日 10.00~16.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター 8 階大ホール 電話大阪 (06) 443-5321
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)
3. 題目と講師

第 1 日: 2 月 25 日 (火)

開 会 換 拶	土木学会関西支部長 米谷 栄二
10.00~11.00 ① 高気圧下作業における安全対策	白石基礎工事 (株) 大阪支店工務課長 平川 脩士
11.00~12.00 ② 発破作業上の安全対策	鹿島建設 (株) 土木工務部長 工博 佐藤忠五郎
13.00~14.00 ③ 鉄道工事における安全対策	国鉄大阪工務局長 北条 武徳
14.00~15.00 ④ 地下鉄工事における安全対策	大阪市交通局高速鉄道建設本部第三建設事務所長 竹山 喬
15.00~16.00 ⑤ トンネル工事における安全対策	(株) 大林組土木本部技術部長 工博 坂本 真雄

第 2 日: 2 月 26 日 (水)

10.00~11.00 ⑥ 機械化土工における安全対策	ブルドーザ工事 (株) 喜撰山ロックフィルダム作業所長 福井 毅
11.00~12.00 ⑦ 既設構造物に対する近接工事の安全対策	阪神高速道路公団工務部工務課第一課長 上林 達郎
13.00~14.00 ⑧ 橋梁架設上の安全対策	日立造船エンジニアリング (株) 鉄構部長 加藤 真三
14.00~15.00 ⑨ 高所工事における安全対策	(株) 大林組労働課長 砂田 道一
15.00~16.00 ⑩ 海上工事における安全対策	第三港建神戸港工事事務所長 日下 宏
閉 会 換 拶	土木学会関西支部幹事長 伊藤 富雄

4. 定 員: 300 名 (先着順)
 5. 参 加 費: 会員 1 000 円 (テキスト代を含む) 非会員 1 500 円
ただし講習会当日は 1 500 円 となりますので期限内に前納して下さい。
 6. 申込期限: 1969 年 2 月 8 日 (土)
 7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別も明記 (様式随意) し, 上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。
- (注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(2) 若い会員懇親パーティ (第 2 回)

◀ 2 月 25 日 (火) ▶

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので, 多数ご参加のうえ, 自由なご発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時: 1969 年 2 月 25 日 (火) 16 時よりの予定 (工事安全対策講習会第 1 日終了後)
2. 場 所: 大阪科学技術センター 8 階小ホール 電話大阪 (06) 443-5321
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)
3. 参加者資格: 39 才未満の土木学会会員
4. 定 員: 50 名 (先着順)
5. 参 加 費: 無 料
6. 申込期限: 1969 年 2 月 8 日 (土)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記 (様式随意) して土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) 工程管理に関する講習会

◀ 3 月 18 日 (火) ~ 19 日 (水) ▶

1. 日 時: 1969 年 3 月 18 日 (火), 19 日 (水) の両日 9.00~17.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター 4 階 401 号 電話 大阪 (06) 443-5321
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師：

(第1日)

	開 会 換 拶	
9.00~10.00	① これからの工程管理の考え方	
10.30~12.00	② 同 上	
13.00~17.00	③ ネット・ワーク手法の計算および演習	

土木学会関西支部長	米谷 栄二
国鉄中央鉄道学園学長室調査役	矢部 真
日本道路公団大阪支社津山工事事務所長	永吉 寿男
京都大学教授工学部 工博	吉川 和広
および建設コンサルタンツ協会大阪支部技術研究委員会施工管理分科会	

(第2日)

10.00~11.00	④ 安治川水門建設における工程管理
11.00~12.00	⑤ 港湾、空港工事における工程管理
13.00~14.00	⑥ 道路工事における工程管理
14.00~15.00	⑦ 橋りょう下部工事における PERT 導入例
15.00~16.00	⑧ 地下駅構築における PERT 導入例
16.00~17.00	⑨ 万国博覧会会場建設における PERT 導入例
	閉 会 換 拶

大阪府土木部高潮課長	那智 俊雄
第三港湾建設局工務第一課長	城所 正雄
近畿地建第二阪神国道工事事務所長	片山 重夫
中央復建コンサルタンツ(株)第一設計部次長	柳田 保男
(株)奥村組技術研究所調査部長	河原畑良弘
日本万国博覧会協会建設部	前田 美種
土木学会関西支部幹事長	伊藤 富雄

4. 定 員：160名(先着順)

5. 参加費：会員 1100円(テキスト代を含む) 非会員 1600円(テキスト代を含む)

ただし講習会当日は1600円となりますので期限内に前納して下さい。

6. 申込期限：1969年3月1日(土)

7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記(様式随意)し上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(4) 若い会員懇親パーティ(第3回)

◀ 3月18日(火) ▶

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので、多数ご参加のうえ、自由なご発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時：1969年3月18日(火) 16.00よりの予定(工程管理講習会第1日終了後)

2. 場 所：大阪科学技術センター6階 603, 604号 電話大阪(06)443-5321番
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m靱公園北東角)

3. 参加者資格：39才未満の土木学会会員

4. 定 員：50名(先着順)

5. 参加費：無料

6. 申込期限：1969年3月1日(土)

7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記(様式随意)して土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(5) 関西支部年次学術講演会(昭和44年度)

◀ 5月11日(日) ▶

1. 日 時：1969年5月11日(日) 9.00~17.00

2. 場 所：神戸大学工学部 電話神戸(078)87-5131 神戸市灘区六甲台町1
国鉄六甲道または阪急電鉄六甲より市バス⑥六甲台行鶴甲口下車、⑥六甲ケーブル行教養部前下車
プログラム、講演概要の頒価およびその他の事項については学会誌4月号(一部3月号)に記載の予定です。
講演ご希望の方はつぎの講演申込要領をご覧のうえお申し込み下さい。

年次学術講演会申込要領

1. 講演申込方法：講演希望者は申込カード(4枚複写綴)に部門、題目、スライドの有無、勤務先、会員種別、学位、氏名(連名の時は講演者に○印をつける)、卒業学校名および年次、連絡先を明記のうえ2月15日(土)までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込カードは関西支部へ請求して下さい。

2. 講演内容：講演は未発表のもので1人1題にかぎります。

3. 講演時間：1題につき15分の予定です。

4. 講演部門：つぎの4部門にわけますが、都合により講演者の了承を得たうえで部門を変更させていただくことがあります。

- 第1部門：構造力学，構造，橋梁等
 第2部門：水理学，水文学，河川，港湾，海岸，発電水力，衛生工学等
 第3部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工等
 第4部門：鉄道，道路，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，空港，測量等

5. 原稿提出要領：講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。
- 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから必ず所定の用紙をご使用下さい。
 - 用紙は執筆要領（原稿の書き方）とともに講演申込者に関西支部からお渡しします。
 - 原稿は 4 月 5 日（土）（期限厳守）までに関西支部へ必着するようお送り下さい。
 - 原稿の長さは 1 題につき 2 ページ（図表，写真を含め 1 ページ 1 480 字詰）を原則とします。超過する場合は 2 ページまで，1 ページにつき 1 000 円の製版料を申し受けます。
6. 講演概要：講演者（○印）には無料，一般は有料，別刷は講演者（○印）には 30 部無料で差し上げますが，それ以外の取扱いはいたしません。

（付）テキスト頒布について

	頒価	無料	送料	35 円
■公害振動測定法（案）（騒音・振動委員会編）	〃	1 000 円	〃	100 円
■騒音・振動公害	〃	700 円	〃	100 円
■関西の土木 100 年（支部創立 40 周年記念出版）	〃	800 円	〃	80 円
■写真測量とその応用	〃	700 円	〃	80 円
■土木工学における動的現象の計測とデータ処理	〃	1 000 円	〃	100 円
■水理学・水文学における最近の進歩	〃			

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部（振替口座利用）へお申し込み下さい。

西部支部行事案内（福岡市薬院 2 丁目 14-21 電話（092）78-3714）

（1）昭和 43 年度支部総会

◀ 2 月 23 日（日）9.00～ ▶

昭和 43 年度支部総会を下記のとおり開催します。本掲載をもって，案内といたしますので，会員多数ご出席下さい。

- 日 時：1969 年 2 月 23 日（日）9.00～
- 場 所：福岡市箱崎 九州大学工学部防音教室
- 備 考：総会終了後研究発表会を開催します

（2）昭和 43 年度研究発表会

◀ 2 月 23 日（日）10.00～ ▶

- 日 時：1969 年 2 月 23 日（日）10.00～
- 場 所：福岡市箱崎 九州大学工学部防音教室
- 参 加 料：無料，論文集代 1 300 円（当日払）
- プログラム：本誌第 54 巻 1 号 16～17 ページ参照

第 14 回材料強度と破壊国内総合シンポジウム

◀ 3 月 27 日（木）▶

- 共 催：日本学術会議強度と破壊委員会，ほか 7 団体
- 協 賛：土木学会ほか 9 団体
- 日 時：1969 年 3 月 27 日（木）9.15～17.00
- 会 場：東京工業大学講堂
- 参加費：無 料

なお，詳細は直接日本金属学会（仙台市大町 3-165 東活ビル内，電話 仙台 23-3685）へお問合せ下さい。